

石巻健育会病院 リハビリテーション部 理学療法士 尾梶 翔

- 功 績** 介護予防活動の空白地帯になってしまった地域住民に向けた介護予防教室で地域のリハビリ技師代表として運営に携わり、成功をおさめ、病院の知名度向上に寄与した功績。
- 推 薦 者** 伊東 貴広 (職種:理学療法士 / 所属部署:リハビリテーション部 部長)
- 推 薦 理 由** ①市で問題となっている高齢者の不活動化に関して初の大規模イベントに初回から協力し、地域貢献という視点で関わる足掛かりを作ったこと
- ②病院の代表という事で関わり、当院リハビリ部のアピールを行い、知名度向上につながったこと
- 以上の点から、理事長賞候補に推薦いたします。

内 容

石巻市は震災以降、高齢者のコミュニティーの問題が度々挙がってきましたが、新型コロナウイルスの影響で構築されつつあったコミュニティー、地域活動が休止、もしくは活動そのものが消滅してしまった地区が多く存在します。

高齢化率も高く、自主的な活動を牽引する住民の動きも鈍く、「活動がなくなってしまって、しばらくそういう場に参加していない」「自分の地区の活動が無くなって、隣の地区の活動に参加していたが、そこも休みになった」といった地域住民の声もあり、活動の空白地帯になっている地域を活性化するために、石巻社会福祉協議会、石巻市役所健康推進課の協力の下、地域包括支援センター主催の健康教室の企画が立ち上がり、対象地区である中央包括支援センターより協力の依頼がありました。

普段実施している『ひまわりカフェ』に比べて参加予定人数も多く、関わりの少ない地区の住民もいるとの事でしたが、今後、要支援・要介護状態になる可能性がある高齢者に『未病』の状態から関わる事で介護度の悪化を防ぐ地域貢献、また支援が必要と思われる方にアドバイス、当院や系列施設のサービスを紹介する事で利用者獲得に繋げる事を目的とし、当院からスタッフとして参加してもらいました。

評価項目の設定や介護予防に関する講話・体操の準備を行い、当日は石巻ささえあいセンターにて36名の参加者に実施。

特にPT尾梶の実施した講義、体操は好評で、参加者より直接「参考になった」「またやって欲しい」とお話を頂きました。

協賛参加していた市役所の職員の方からも「ずっと大規模接種会場として使用していたささえあいセンターもやっと本来の使い方ができました。今後も是非活用してほしい」と前向きな発言が聞かれました。

参加者のアンケートにも「体を動かすいい機会。続けてほしい」「自分が住んでいる復興住宅でもやって欲しい」と、好意的な意見が多く書かれていました。